

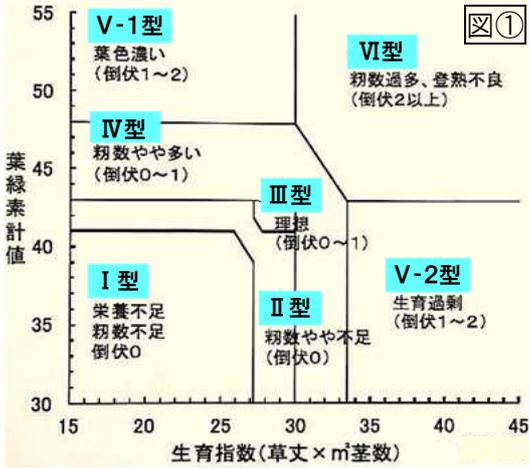
# 今日の農作業

県病害虫防除所発表より 一部抜粋

## ● 水稲

葉いもち病の発生始期はやや早く、発生量はやや少ない予想。セジロウシカ、斑点米カメムシ類は、やや早くやや多い発生となる予想。出穂頃からは紋枯病も散見されるため、併せて早めの防除を心がけ、除草も引き続き徹底する。

また生育前半の低温や日照不足傾向により生育遅れや莖数不足が若干見られるが、中干しや溝切りは圃場ごとに適期に実施し、根の伸長と地中のガス抜きをすることも大切である。なお幼穂形成



# 農業倶楽部通信

平成30年 七月号

発行：農業倶楽部  
よこて店  
H30.7.3 vol.43

**営業時間**  
8時半～17時  
定休日：日曜 祝日

期前には中干しを終了し、間断灌水から湛水へと移行。出穂に備える。

※図①：あきたこまちの葉色と生育指数による栄養診断の目安表。出穂前の管理次第で収量や品質が大きく左右されるため、適切な肥培管理を実施して下さい。

## ● そとこ

きゅうりの斑点細菌病やワタアブラムシ、キャベツのモンシロチョウやコナガ等がやや多い予想。生理障害の発生も見られ、適切な予防散布と肥培管理が重要。

## ● 果樹

おうとうは、6月15日頃から収穫が始まり、雨が少なく寒暖差が大きかったことから品質はおおむね良好。今後は来年の花芽充実に向け大事な時期でもある。雨よけ除去や礼肥の施肥は速やかに実施し、隔年結果の予防に努める。(下記参照)

■葉を見ると栄養状態が良くわかる。ホウ素や苦土等の欠乏症状を見落とさないようにしましょう!

「おうとう礼肥 施肥例」 ※収穫直後(7月中旬)

千代田化成472 (速効性中性肥料)	30kg	樹勢回復と花芽の充実
スターマク25 (水溶性苦土肥料)	30kg	地力向上と隔年結果防止に
21%苦土燐肥 (苦土5%、燐21%)	40kg	

りんご黒星病のDMR(EBR)剤耐性菌が横手市で発見された。県外(青森県)より購入した苗木が感染源と見られ大問題となっている。これまで毎年使用されてきたアンピル、インダー、オンリーワン、スコア剤等の耐性菌だが、ストロピ、ナリア剤等のストロピルリン系統の薬剤使用も注意が必要である。この病害は高温時にはいったん終息するが、秋雨前線の南下に伴い再発生する。今後はこまめに発生状況をチェックし、ローテーション薬剤には銅剤やダイパワ、ユニツクス、ストライド剤等を使用すること。

この他りんごの炭疽病や褐斑病、なしの黒星病、ぶどうのべと病や晩腐病、全般にハダニ類や果樹カメムシ類も多い予想。何れも発生密度の低いうちに防除し夏期剪定等で風通しや日照も改善する。

## 7月の当店おすすめ商品★

- 水稲調整肥(チツ過多傾向=図①でV型、VI型の場合)
  - スターマク25 (15kg) ¥1,850
  - 21%苦土燐肥 (20kg) ¥2,340
- 水稲穂肥と倒伏防止(I、II、III型傾向の時)
  - ニトロ燐加V40号 (20kg) ¥2,890
  - エスアイ加里 (20kg) ¥2,855
- 野菜の根痛み防止、健康と品質の維持に♪
  - 各種酸素供給剤(粒状、液状) (各10kg) ¥3,500
  - ヒカリミネラル(各種微量元素) (5kg) ¥6,000

## ★ 東北地方の1ヶ月天気 ★

6/30 ~ 7/29

平年に比べ曇りや雨の日が多い予想です。週別の気温は、1週目は高い確率80%、2週目は高い確率が50%となっています。

気温	20	30	50
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

■(平年)以下 ■並 ■高い (%)

なお、横手市の10日間予報ではしばらく曇りや雨で気温が高い予想となっていますが、このところ天気が変わりやすく、作物の高温乾燥対策や農作業中の熱中症対策も万全に行いましょう!

来年度にいかがですか?

### 掘り出し物 情報!

初中期一発剤 数量限定!

わけあり特価中!

◎編集者のつぶやき...  
気が付けば7月! 月日の過ぎるのはなんて早いのでしょう...この半年、目立った悪天候には遭遇しませんでした。雨が少ないため野菜や果樹栽培では苦労されている方も多いかもしれませんが、空梅雨も心配されていますが、昨年のような豪雨災害への備えも忘れてはいけませんね。(油断大敵!)